

ワークショップ検討グループ（第3回）発表の意見まとめ

- ✓ ワークショップの目的について
- ✓ 小学生から大学生などの若い世代にまちづくり委員会を知ってもらう。
- ✓ 若い世代の意見を取り入れるという目的があり、その目的に向かってできそうなこととして
- ✓ ①審議されている提案テーマに基づいて委員会で審議した内容について意見を聞く。例えば環境問題についてどのような問題がある、どうしたらよいかという意見を聞く。
- ✓ ②子ども向けの提案箱、作文コンクールなどを行い、もし市長になったらどんな街としたい、東京で一番有名にするにはなど、まっさらのテーマから新しいアイデアを聞く。ことの2案
- ✓ また委員には3人の学生や子育て目線の方もいることから若い世代の代表として委員のメンバーの意見を出していくことが必要なのではないか。

検討課題等

- ・若い世代（大学生）の意見を聞くという目的がある。
- ・提案審議が進んでいく中でどのような形でワークショップを開催していくことが望ましいか。
- ・①②案なども含め、ワークショップの方法について検討する。
- ・第2回目資料（ワークショップ案）も参考。
- ・資料中の目的のように提言テーマを探っていくものにするのか、①案のように提案（委員提案、市民提案）の参考として意見を聞くか、または②案のように新しい視点やアイデアを聞くのか。
- ・その際の手法についてはどうするのか検討。